



HENNGE Secure Download for Box

アジェンダ

1. 概要 … 03
2. 利用イメージ … 05
3. HENNGE Email DLPとBoxの連携方法 … 11
4. 導入・検証手順 … 19
5. 全社展開方法 … 31
6. 注意事項 … 33
7. Appendix … 36

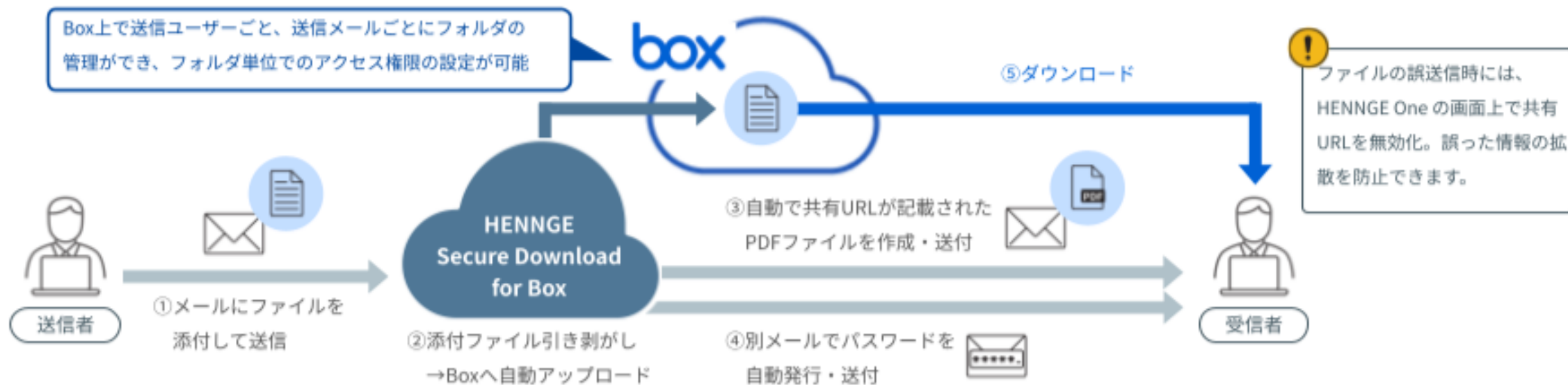


概要

HENNGE Secure Download for Box の機能・概要について説明します。

概要

- メールの添付ファイルを自動で引き剥がしてBoxに格納し、共有URLを発行し、パスワードを別メールで自動送信。
Boxを活用して「脱PPAP対策」を実現。
- ユーザーはメールに資料を添付するだけ。共有URLリンクの発行やパスワード生成、URLの公開期限設定などの手間から解放されます。
- HENNGE Oneの一時保留、削除、上長承認等の誤送信対策機能を併用してよりセキュアなファイル共有が可能に。





利用イメージ

HENNGE Secure Download for Box を用いたファイルの送信方法、受信者側の操作方法、URL停止方法について説明します。

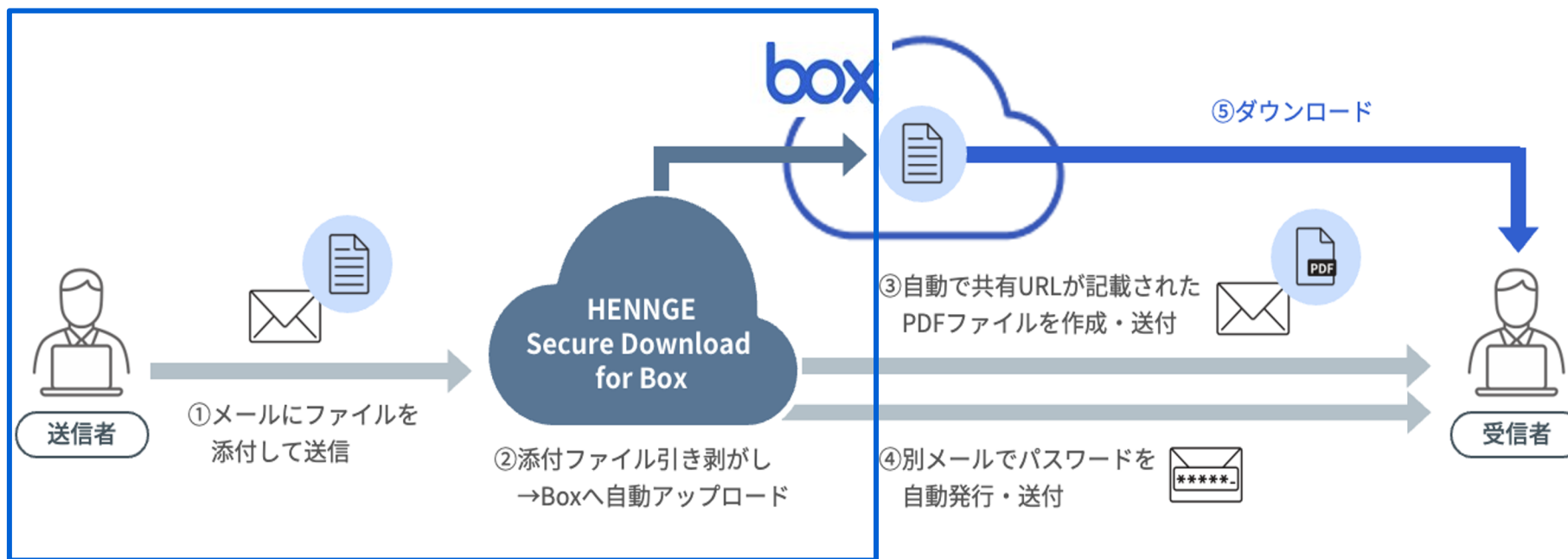
利用イメージ (送信者側)

- 送信者は、メールにファイルを添付して送信するだけで問題ありません。HENNGE Email DLPで設定したフィルターが適用され、添付ファイルが自動的にBoxへアップロードされます。

*添付できるファイルの容量は送信者が使用するGoogle Workspace / Microsoft365 に依存しますが、

HENNGE Secure Download for Box で送信可能な最大ファイルサイズは約 35 MBです。

*添付可能な最大ファイル数は 20 ファイルです。



利用イメージ (送信者側)

- BoxのContentメニューにあるHENNGE Secure Download for Boxフォルダ内に宛先アドレスごとにフォルダが生成されます。そのフォルダ内にメール送信日時のフォルダが自動で生成され、添付ファイルが格納されます。

フォルダ構成 (例) : [Content](#) > [Content Manager](#) > [HENNGE Secure Download for Box](#) > [Files](#) > [sender@xx.jp](#) > [2022-05-19_17:07:47_Test Mail](#)

1. 「Content」メニューの「HENNGE Secure Download for Box」フォルダ内の「Files」を開く



2. 「Files」内に宛先メールアドレスごとのフォルダが作成される

The screenshot shows a list of folders in the 'Files' folder. The folders are listed in a table with columns 'Name', 'Updated', and '人' (number of items). The folder 'sender@...' is highlighted with a blue box.

Name	Updated	人	📄
[Redacted]	6/28/22	0	8
[Redacted]	6/23/22	0	143
sender@[Redacted]	5/19/22	0	6

3. "各メールアドレスのフォルダ内に送信メールごとのフォルダ生成され、添付ファイルが格納される

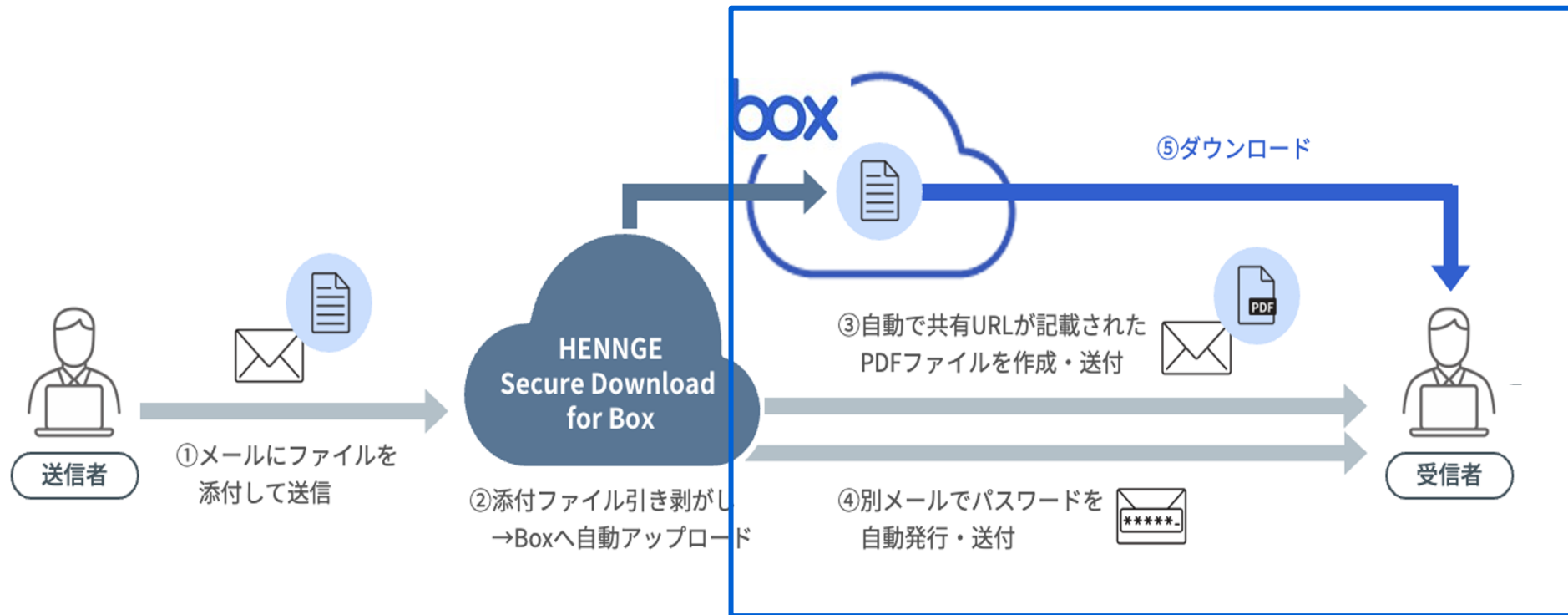
The screenshot shows a list of folders in the 'Files' folder. The folders are listed in a table with columns 'Name', 'Updated', and '人' (number of items). The folder '2022-05-19_17:07:47_Test Mail' is highlighted with a blue box.

Name	Updated	人	📄
2022-05-19_17:07:47_Test Mail	5/19/22	0	1
2022-05-19_17:06:54_Test Mail	5/19/22	0	1
2022-05-19_17:06:12_Test Mail	5/19/22	0	1
2022-05-19_07:37:44_Test Mail	5/19/22	0	1
2022-05-19_07:37:31_Test Mail	5/19/22	0	1
2022-05-19_07:36:37_Test Mail	5/19/22	0	1

* ファイルおよびフォルダの削除は管理者のみ可能です。ユーザーによる削除はできませんのでご注意ください。

利用イメージ (受信者側の操作)

- 受信者は、共有URLが記載されたPDFとパスワード通知メールを受け取ります。PDF内の共有URLにアクセスし、パスワードを入力してファイルをダウンロードします。



利用イメージ (受信者側の操作)

- 詳細はヘルプセンター記事 [\(HENNGE Secure Download for Box で送信されたファイルをダウンロードする\)](#) をご確認ください。

1. PDFが添付されたメールとパスワード通知メールが届く



2. 【共有リンクURL】に記載のリンクをクリック



3. パスワードを入力



4. Boxの画面から添付ファイルをダウンロード



* パスワード通知のメール文章はテナント単位でカスタマイズ可能

* PDFの文章は変更不可
* 共有URLの有効期限は1日～60日の範囲でカスタマイズ可能

* パスワードの有効期限は最大31日

* 受信者は送信者のBox環境内にあるHENNGE Email DLP 専用フォルダにアクセスするため、受信者側でのBoxの契約は不要

利用イメージ (URL 停止)

HENNGE Email DLP のユーザー画面にて、HENNGE Secure Download for Box で送信したファイルの確認、ダウンロード URL の停止が可能です。

HENNGE Secure Download for Box で送信したファイルを確認する

HENNGE Email DLP の管理者の場合、管理者画面よりダウンロード URL を停止することもできます。

管理者にて HENNGE Secure Download for Box のダウンロード URL を無効化する

Box管理者の場合、HENNGE Secure Download for Box にてアップロードされたファイルをBox上で手動削除することもできます。

[HENNGE Secure Download for Box] アップロードしたファイルを削除することはできますか



HENNGE Email DLPとBoxの連携方法

HENNGE Email DLPとBoxの連携方法について説明します。

HENNGEとBoxの連携設定

- HENNGE Email DLPとBoxの双方で認証を行うことで、連携が完了します。
詳細手順は左記ヘルプセンター記事（[HENNGE Secure Download for Box の有効化作業](#)）をご確認ください。
- 連携が完了すると、それぞれの管理画面に認証情報が表示されます

Box 管理画面

アプリ>カスタムアプリマネージャ

Name	Last Activity	Developer Email	Authorization Status	Enablement Status
HENNGE Email DLP (Staging)	May 13, 2022	captain.falcon@dev.hdntrial.jp	Authorized	Enabled

HENNGE Email DLP 管理画面

テナント設定>連携サービス>HENNGE Secure Download for Box

12

連携サービス

- Azure Active Directoryとのディレクトリ同期 有効
- box HENNGE Secure Download for Box (HSDB) 有効

設定

1.HENNGEとBoxの連携設定（Boxの設定）

1.1. Box の管理画面にブラウザでアクセスします。

1.2. Box 管理者画面で [アプリ] - [カスタムアプリマネージャ] - [アプリの追加] を押下し、下記のクライアントIDを入力します。 [次へ] を押下します。

`jc2ns8u8anf5tdq7fz9zfx70vst7pwdw`

1.3. アプリの承認を行います。 [承認] を押下します。

1.4. HENNGE Secure Download for Box アプリが追加されていることをご確認ください。

1.5. サイドメニュー [アカウントと請求] を選択します。画面上に表示される「Enterprise ID」をお控えください。

※ HENNGE Email DLP 側の設定時に必要になります。

2.HENNGEとBoxの連携設定（HENNGEの設定）

2.1. HENNGE Email DLP の管理画面にブラウザでアクセスします。

2.2. サイドメニューの[連携サービス]を押下し、[HENNGE Secure Download for Box (HSDB)]-[設定]を押下します。

The screenshot displays the HENNGE management interface. On the left is a sidebar menu with categories: フィルター (Filter), 履歴 (History), 保留 (Retention), 暗号化 (Encryption), 制限された送信者 (Restricted Senders), and テナント設定 (Tenant Settings). The '連携サービス' (Integration Services) item is highlighted with a red box. The main content area is titled '連携サービス' and contains two settings:

- Azure Active Directoryとのディレクトリ同期** (Directory Sync): Status is '有効' (Enabled) with a green checkmark. Below it is a blue button labeled 'アクセスを許可' (Allow Access).
- box HENNGE Secure Download for Box (HSDB)**: Status is '有効' (Enabled) with a green checkmark. Below it is a button labeled '設定' (Settings), which is highlighted with a red box. A note below the button states: 'HENNGE Secure Download for Box (HSDB) を有効にすると、フィルターが適応されたメールの添付ファイルがBox上に保管されます。' (When HENNGE Secure Download for Box (HSDB) is enabled, attachments of emails filtered are stored on Box.)

2.HENNGEとBoxの連携設定（HENNGEの設定）

2.3. 「1. HSDB アプリへのアクセスを許可する」が表示されます、[次へ]を押下します。


連携サービス > HSDB設定

① HSDBアプリへのアクセスを許可する

1. Box管理者コンソールのカスタムアプリマネージャページにアクセス。 [カスタムアプリマネージャ](#)

2. 「アプリを追加する」ボタンを押し、以下記載のHSDBアプリのクライアントIDを入力後、承認してください。

HSDBアプリのクライアントID

jc2ns8u8anf5tdq7fz9zfx70vst7pwdw 

3. 『HENNGE Secure Download for Box』がリストに「承認済み」かつ「有効」の状態を追加されていることを確認してください。

次へ

2.HENNGEとBoxの連携設定（HENNGEの設定）

2.4.1.5. で控えた BoxのEnterprise ID を入力し [次へ] を押下します。

連携サービス > HSDB設定

2 Box Enterprise IDの入力

Boxの管理者コンソールの「アカウントと請求」からEnterprise IDを特定してください。

[Boxの管理者コンソール](#) 

[← 戻る](#)

2.HENNGEとBoxの連携設定（HENNGEの設定）

2.5. 認証コードの入力を行います。Box の管理画面上より [コンテンツ]-[HENNGE Secure Download for Box]-[Verification] のフォルダに保管されている認証コード(6桁の数字)を入力してください。

*認証は10分以内に行ってください。セッション切れとなった場合は再度認証を行ってください。

連携サービス > HSDB設定

3 認証コードの入力

Boxの管理者コンソール内「コンテンツ」ページから「HENNGE Secure Download for Box > Verification」フォルダに保管されている認証コードを入力してください。

[Boxの管理者コンソール](#)

Enterprise ID:

認証コードが見つかりませんか? [コードを再送する](#)

[← やり直す](#)

2.HENNGEとBoxの連携設定（HENNGEの設定）

2.6. HENNGE Secure Download for Box の設定画面が表示されます。下図が表示されたら、HENNGE Secure Download for Box の有効化は完了です。

The screenshot shows the '連携サービス > HSDB設定' (Integration Services > HSDB Settings) page. The left sidebar contains navigation menus for 'ユーザー設定' (User Settings), 'アドレスグループ' (Address Groups), 'フィルター' (Filters), '履歴' (History), '保留' (Retention), '暗号化' (Encryption), '制限された送信者' (Restricted Senders), and 'テナント設定' (Tenant Settings). The main content area is titled '連携サービス > HSDB設定' and includes a '戻る' (Back) button. It is divided into three sections: '基本情報' (Basic Information) with fields for 'Enterprise ID' and 'ログインメールアドレス' (Login Email Address); '共有リンクの有効期限' (Shared Link Validity Period) with a '有効期限' (Validity Period) of 30 days and an '編集' (Edit) button; and 'パスワード通知メールテンプレート' (Password Notification Email Template) with options for '初期化する' (Reset), 'プレビュー' (Preview), and 'カスタマイズ' (Customize). Below this is a 'タイムゾーン' (Time Zone) set to 'Asia/Tokyo', a '件名' (Subject) line, and a '本文' (Body) section containing a message template with placeholders for subject, date, and password. At the bottom, there is an 'HSDB設定の初期化' (Reset HSDB Settings) section with a '初期化' (Reset) button and explanatory text.



導入・検証手順

HENNGE Secure Download for Box の導入から検証開始までの手順について説明します。

導入・検証手順

利用環境確認

- 動作環境の確認

検証用設定

- HENNGE Email DLPとBoxを連携
- 検証用のルール / フィルター設定

検証開始

- 検証用のルール / フィルター適用

利用環境確認

利用環境確認

- 動作環境の確認

検証用設定

- HENNGE Email DLPとBoxを連携
- 検証用のルール / フィルター設定

検証開始

- 検証用のルール / フィルター適用

利用環境確認

- ✦ 事前に [動作環境](#) をご確認ください。
- ✦ web フィルタリングを利用している場合、許可する [FQDN](#) をご確認ください。

導入・検証手順

利用環境確認

- 動作環境の確認

検証用設定

- HENNGE Email DLPとBoxを連携
- 検証用のルール / フィルター設定

検証開始

- 検証用のルール / フィルター適用

HENNGE Email DLP 管理画面

- HENNGE Email DLP管理画面の「テナント設定」の「連携サービス」からBox連携機能を有効化します。（詳細は、前章のHENNGE Email DLPとBoxの連携方法をご参照ください。）

HENNGE Email DLP 管理画面

テナント設定 > 連携サービス > HENNGE Secure Download for Box

フィルター

- ルールグループ
- フィルター
- 履歴
- 履歴ダウンロード
- 保留メール
- 通知 (フィルター)
- 通知 (申請者宛て)
- 外部宛てアドレス強制変換

保留

- 通知 (メール操作)
- 通知 (放置メール)

暗号化

- 通知 (受信者宛て)
- 通知 (送信者宛て)
- 暗号化タイプ
- 暗号化ポリシー

制限された送信者

- 制限された送信者

テナント設定

- 連携サービス**
- 全般

連携サービス

Azure Active Directoryとのディレクトリ同期 有効

Azure Active Directory (Azure AD) のディレクトリ同期を行うには、「アクセスを許可」ボタンを押し、HENNGE Email DLPによるAzure ADへのアクセスについて管理者の同意を付与してください。HENNGEが新たなアクセス権限を追加した場合や管理者が同意を取り消した場合、再びアクセスを許可する必要があります。

アクセスを許可

box HENNGE Secure Download for Box (HSDB) 有効

HENNGE Secure Download for Box (HSDB) を有効にすると、フィルターが適応されたメールの添付ファイルがBox上に保管されます。

設定

フィルターの構成

アドレスグループ



誰かを定義

- ドメイン
- 個人



アドレスグループ



誰にを定義

- ドメイン
- 個人



ルールグループ



どんな条件で どうか

- | | |
|----------|------|
| • 件名 | • 保留 |
| • 添付ファイル | • 削除 |
| ……など | • 承認 |
| | ……など |

フィルターの優先度

優先度	アドレスグループ (送信者)	アドレスグループ (受信者)	ルールグループ
100	役員	All	そのまま送信
110	部署 A	取引先 Z	承認
120	社内ドメイン	All	ZIP + 保留

フィルターの優先度

優先度	アドレスグループ (送信者)	アドレスグループ (受信者)	ルールグループ
90	検証用 From	検証用 To	検証用ルール
100	役員	All	そのまま送信
110	部署 A	取引先 Z	承認
120	社内ドメイン	All	ZIP + 保留

検証用のフィルターを作成する

STEP
1

アドレスグループを作成する

検証を行う From と To アドレスを決定し、アドレスグループを作成します。
参考) [アドレスグループを作成する](#)

STEP
2

ルールグループを作成する

検証用のルール (条件・処理) を決定し、ルールグループを作成します。
参考) [ルールグループを作成する](#)
参考) [HENNGE Email DLP インポートデータ \(YAML ファイル\) 作成について](#)

STEP
3

フィルターを作成する

STEP ① ② で作成した内容に基づき、フィルターを作成します。
参考) [フィルターを作成する](#)

サンプル YAML

- ✦ ルールグループのサンプルとして、以下のルールを設定した YAML をご用意しています。
以下の例では、特定のプロジェクトなどでパスワードルールが決まっている場合を除き、添付ファイルはパスワード保護せずに送信することで、HENNGE Email DLP で ZIP 暗号化または HENNGE Secure Download、HENNGE Secure Download for Box での URL 化を行うことを想定します。
また、件名に【ZIP】もしくは【HSD】と特定のキーワードを入力することで、送信者自身で ZIP 暗号化するか HENNGE Secure Download で送るかをお選びいただけます。どちらも記載しない場合は、HENNGE Secure Download for Box で送信します。

優先度 100 : すべてのファイルがパスワード保護されていた場合は 10 分保留

優先度 110 : いずれかのファイルがパスワード保護されていた場合は削除

優先度 120 : ZIP が添付されていた場合は削除

優先度 130 : メール件名に【ZIP】がある場合は ZIP 暗号化して 10 分保留

優先度 140 : メール件名に【HSD】がある場合は : HENNGE Secure Download で URL 化し 10 分保留

優先度 150 : HENNGE Secure Download for Box で URL 化して 10 分保留

導入・検証手順

利用環境確認

- 動作環境の確認

検証用設定

- HENNGE Email DLPとBoxを連携
- 検証用のルール / フィルター設定

検証開始

- 検証用のルール / フィルター適用



全社展開方法

HENNGE Secure Download for Box の全社展開方法について説明します。

全社展開方法

利用環境確認

- ・動作環境の確認

全社展開用設定

- ・既存ルール / フィルターのバックアップ
- ・全社展開用のルール / フィルター設定

全社展開

- ・検証用のルール / フィルター削除
- ・全社展開用のルール / フィルター適用



注意事項

HENNGE Secure Download for Box の導入・ご利用時の注意事項について説明します。

注意事項

- ✦ 本機能をご利用の場合、Box ビジネスプラス以上のご契約が必要、かつ利用者は、必ず Box のユーザーライセンス契約が必要です。
- ✦ Box との接続設定作業はお客様にてご実施いただく必要がございます。
- ✦ 接続設定作業が想定通りおこなえない場合やエラーが発生した際、お客様環境固有の事象の場合は Box 社へのお問い合わせをお願いする場合がございます。
- ✦ HENNGE Secure Download for Box をご利用の場合、一度に添付できるファイルは 20 ファイルまでとなり、超過した場合は送信できません。
- ✦ HENNGE Secure Download for Box では、メール本文を含め Microsoft の場合 35 MB まで、Google Workspace の場合 25 MB まで送信可能です。
- ✦ API コール数の制限（レート制限）については Box 全体の制限を超過した場合の課金に関して API コールカウント対象外となります。

注意事項

- ✦ Box のユーザー画面からは送信済みファイルを確認することができません。
HENNGE Email DLP のユーザー画面のファイル履歴からダウンロードすることができます。
- ✦ HENNGE Secure Download for Box で送信したファイルは、Box の管理画面から確認することができます。宛先アドレス毎にフォルダが生成され、送信メールごとに添付ファイルが格納されます。
- ✦ HENNGE Secure Download for Box で送信したファイルのダウンロード回数は確認できません。
- ✦ Box のコンテンツと共有からコラボレーション (コラボレータ) を追加した場合、コラボレータはフォルダ内の変更を行うことができます。
 - ファイルの削除
 - ファイルの追加
 - ファイル名の変更
 - 同じ名前のファイルの置き換え



Appendix

Appendix

HENNGE Email DLP の管理者マニュアルは、以下のページをご参照ください。

[HENNGE Email DLP 管理者ヘルプ](#)

HENNGE Secure Download for Box に関する情報は、以下のページをご参照ください。

なお、本ページの動画・画像に含まれる HENNGE Email DLP およびBoxの画面は作成時点のものであり、現在の画面とは異なる場合がございます。

[HENNGE Secure Download for Box 特設ページ](#)

既存の設定内容のバックアップを行う際は、以下のページをご参照ください。

[設定内容のエクスポートについて](#)